

写真 躍る鮭に負けじと、力を入れて
鮭をすくい上げる杵鞭さん



躍る鮭に
負けじと

3年から4年の長い大海の旅から、忘れもせず母なる川に戻ってくるといふ鮭。今年も産卵のため、多くの鮭が群れをなして、阿賀野川を上ってきています。

小阿賀野川でも、許可を受けた地元の人たちが、10月上旬から鮭の採捕を始めています。取材当日、七日町の杵鞭昇一さんが捕まえた鮭は、体長1メートルあるのかという大物で、見事な姿、つやでした。杵鞭さんは、「この時期に約300尾捕りますが、鮭資源には限りがあります。ですから、採卵し、ふ化させ、稚魚を放流してやることも私たちの仕事なのです」と語っていました。

広報 にいつ

11/15

昭和63年(1988年) 622号

★編集・発行/新潟県新潟市/☎956 新潟市程島2009番地
☎0250-24-2111(代)/毎月1日・15日発行

今号の内容

- 技能功労者表彰……………②③
- 今年度前期の水道の業務状況……………④⑤
- 花き総合センターへどうぞ……………⑥
- 大きく育て、新津のガキ大将……………⑦
- 旧市役所分館跡地の公売……………⑫